

ウィズバイク

RSG ライディングスクールへようこそ!

ウィズバイクライディングスクールへようこそ(^^)/ こんにちは! ライディングコーチのミナキです。
 そろそろ暑さも一段落! ? 1年でバイクもライダーも一番調子の上がる季節の到来ですね!!
 さてさて3回目となるタイヤの話ですが、今回は『**ライディングによってタイヤのグリップが変わる! ?**』(フロント編)です。



【安全なタイヤのグリップの使い方 フロントタイヤ編】

『**フロントタイヤがスリップして転倒!!**』と言うのを経験したライダーは多いのではないのでしょうか! ? あれは本当に嫌なものです(>_<)
 恐らく立ちゴケの次に多い転倒状況だと思いますが、**フロントタイヤのグリップは、実はプロのレーシングライダーでも感じ取るのが難しいのです**
 (モトGPライダーでも頻りにフロントから転倒します。彼らは限界と闘っていますが...)。ましてやビギナーライダーに分からなくて当たり前、...
 とはいえフロントからの転倒はトラウマになるので何とか避けたいものです...(^_^)

なぜフロント転倒は起こるの??

交差点やカーブで曲がる時のバイクには、真つすぐ走り続けようとするとも大きな慣性力が発生しています。
 この慣性を受け止めて、スピードを落とし、向きを変える仕事をしてくれているのが**フロントタイヤ**なのです。
 フロントタイヤを滑らせての転倒が多い理由は、フロントタイヤには『**大きな力が掛かる**』事。
 そして『**グリップを感じ取るのが難しい**』事が原因です。



フロント転倒をしないグリップUPの乗り方

その1 2段ブレーキをマスターしよう(^^)/

フロントフォークが「**ドーン**」と一気に奥まで沈んでしまうような掛け方は絶対にダメ!! (>_<) 強いブレーキを掛けていないのに、濡れた路面で転倒してしまうのは、ほとんどこれが原因です。2段ブレーキは、この「**ドーン!!**」ブレーキにならないブレーキの掛け方。まず**軽くレバーを引き**フォークを半分沈める。その直後に**じわっと強くレバーを引き、フォークを更に奥まで沈めるイメージ**です。擬音で言えば「**グッー**」って感じ。そしてブレーキを強く掛け始めたら、**フォークの受け止め具合(沈み具合)に神経を集中!!** **ここがミソ!!** フロントタイヤのグリップは分かり難いものですが、フォークの沈み具合を感じながらブレーキを掛けると感じ取れるようになるものです(^^)/ フル制動をしないとイケない場面では、**フォークが底ついたような、止まった感じ**になります。その時、フォークの先にある**タイヤもグリップの限界に近づいているので、ブレーキを緩めながらその状態を維持**します。そうする事で転ばずに最大の制動をし続ける事が出来るのです。不思議に思うかもしれませんが、**一気に強く掛けるより、サスペンションの機能を上手く使ったこのやりの方が、タイヤのグリップを作る事になり、短い距離でスピードを落とせます**。雨の日の下り坂など低速までスピードを落とす場面では**絶対必要なテクニック**です。また**バイクのセンターにちゃんと座っていないライダーは、フロントタイヤをスリップさせやすいので要注意!**



【フォークが伸びた状態】 【半分沈んだ状態】 【ほぼ底つき状態】

バンク直前に強く掛けない(^^)/

その2

「そんな分かっているよ!」と言われそうですが、これでグリップを失う人が多いのも事実!! 何が起きているかと言うと、<一度ブレーキでスピードを落としレバーを離す><その後、もう少しスピードを落としたいと思ひ、倒す直前に軽い「**ドーン!!**」ブレーキ! >>こんな感じです。もともと「**大きな慣性力**」を受け止めながら曲がり始めるフロントタイヤに、**ブレーキで作られた力を受け止める余力はないのです(>_<)** とにかく丁寧に!

「セルフステア」を邪魔しない(^^)/

その3

バイクが自然にバンクして旋回して行く過程では、そのポイントポイントで適正な舵角が自動的に付いていきます。しかしハンドルに力が入ってしまい自然な舵角が付かないと簡単にグリップを失ってしまうのです(>_<) 下半身のホールドで腕の力を抜きましょう!

タイヤの摩耗&風邪引き(硬化)したタイヤは履かない!

その4

前述の通りフロントタイヤのグリップは分かり難いばかりでなく、**限界グリップを超えると唐突に滑ります(>_<)** タイヤ本来のグリップ力が足りなければ、いくら上手に走っても無駄な努力(>_<) スリップサインが出たら即交換!!

フロントタイヤを感じ取るのはなかなか難しい...でも理屈を知る事と練習する事でマスターする事はそう難しくはありません。
 サーキットスクールはコースを走りながら自然と練習が出来ますよ~(^^)/
 次回はリアタイヤ編と、グリップを作り出す乗り方をお話しましょう(^^)/

【ライディングコーチ MINAKI】 RIDING SPORTS GARAGE 代表

西日本チャンピオンを経て1990年レースブームの真っただ中、国際A級へ自動昇格し全日本選手権を転戦。鈴鹿8耐に幾度も出場し完走。現役時代より教え出したら止まらない癖あり。現在は、ショップと各サーキットでの一般ライダー向けスクールを年間25回以上開催。コーチングノウハウを駆使してRSGレーシングを率い、同チームから多数の全日本ライダーを輩出。「RSGレーシング&スクールファミリー」で2015年2017年鈴鹿8耐を無事完走!

ライディング スポーツ ガレージ

〒811-1242 福岡県那珂川市西隈 4-9-5
 TEL 092-951-2299 FAX 092-951-2288

『RSG で検索』

RSG HP <http://rsg-sports.com>

